

1.基礎の修得で、卒業後の学びも支える臨床検査カリキュラム

2.学習支援や定期的な模擬試験で、国家資格取得に向け徹底サポート

3.上位専門職をめざす希少なコースで、細胞検査のスペシャリストを養成



未来を見据え
チーム医療に貢献できる
臨床検査技師・細胞検査士に



1 回生

臨床検査に必要な基礎を学ぶ

将来、臨床検査技師または細胞検査士として活躍することを早期に自覚し、大学での学修の動機づけを行う。人体の構造や機能、人のこころの働きについても広く学び、臨床検査技師に必要な基本知識・技術を身につける。

- ✔ 基礎医学の基本知識・技術
- ✔ 興味・関心
- ✔ 幅広い教養



2 回生

多様な検査方法を学び、専門性を高める

基本知識・技術の更なる修得に加え、臨床検査技師に必要な専門知識・技術を身につけながら、チーム医療の現場で大切なコミュニケーション能力の必要性を学ぶ。

- ✔ 道徳観
- ✔ 責任感
- ✔ 思考力
- ✔ 専門知識・技術
- ✔ コミュニケーション力



3 回生

臨床現場に適応できる実践力を身につける

学内での臨床検査技師になるための講義実習を履修し、いよいよ病院での臨地実習へ。実際の医療現場を体感しながら、臨床検査士技師または細胞検査士としての実践的知識および技術を身につける。

- ✔ 応用力
- ✔ 柔軟性
- ✔ 実行力
- ✔ 危機管理能力
- ✔ 専門性
- ✔ シミュレーション力
- ✔ 探究心

4 回生

生涯学び続ける探求心を養う

臨床検査技師または細胞検査士として、進化し続ける医療に対応できる探求心を養う。生涯にわたり研究し続ける姿勢やスキルを育む。

- ✔ プレゼンテーション力
- ✔ 科学的アプローチ
- ✔ アカデミックスキル
- ✔ 課題発見力
- ✔ 課題解決力
- ✔ 探究心
- ✔ 論文読解力
- ✔ 論文執筆力



将来の進路

● 国公立大学附属病院

● 国公立病院

● 総合病院

● 検査センター・検診センター

● 京都橘大学大学院（進学）

● 国公立大学大学院（進学）

など

取得できる資格

- 臨床検査技師国家試験受験資格
- 細胞検査士資格認定試験受験資格〈選択制〉

PICK UP 科目

- 【基礎】
 - ・ ところとからだの健康科学Ⅰ・Ⅱ
 - ・ 解剖生理学
 - ・ 生化学Ⅰ・Ⅱ
 - ・ 病理病態学Ⅰ
 - ・ 微生物検査学Ⅰ
- 【臨床検査技師関連科目群】
- 【細胞検査士基礎科目】
 - ・ 臨床細胞学総論Ⅰ

こんな経験もRECOMMEND

- ・ チーム医療における臨床検査技師の役割・重要性を理解する
- ・ 細胞検査士の役割を理解し、資格取得をめざすかを考える

PICK UP 科目

- 【臨床検査技師関連科目群】
 - ・ 遺伝子・染色体検査学
 - ・ 輸血・移植検査学
 - ・ 生理検査学Ⅰ・Ⅱ
 - ・ 病理検査学Ⅱ
 - ・ 血液検査学
- 【細胞検査士基礎科目】
 - ・ 臨床細胞学総論Ⅱ・Ⅲ

こんな経験もRECOMMEND

- ・ アメリカのワシントン大学・検査センターなどを見学する海外研修に参加し、最先端の臨床検査について学ぶ

PICK UP 科目

- 【臨床検査技師関連科目群】
 - ・ 研究基礎演習
 - ・ 救急検査学
 - ・ 医療安全管理学
 - ・ 臨地実習(臨地実習前の技能修得到達度評価を含む)
 - ・ 臨床病態学Ⅱ
- 【細胞検査士関連科目群】
 - ・ 臨床細胞学演習Ⅰ・Ⅱ

こんな経験もRECOMMEND

- ・ 臨地実習に行く前に、各領域の検査に関する知識や実技を復習し、修得状況の確認を行う
- ・ 同じゼミの先輩との交流を通じて自身の将来を思い描く

PICK UP 科目

- 【卒業研究関連科目群】
 - ・ 卒業研究A・B
- 【細胞検査士コース科目】
 - ・ 細胞診断学総論
 - ・ 細胞診断学各論Ⅰ～Ⅵ

こんな経験もRECOMMEND

- ・ 最新の検査機器を扱うメーカーや医療現場で働く方の講演を聞く
- ・ 海外の研究や論文に触れ、自身の研究課題を探究する